



そんなドクターの声にこたえて 3大共済制度 好評受付中!

患者さんのからだを心配してばかりで、自分のからだは二次だ
保険料を安くできないかな
いざというときの蓄えがない
医事紛争の備えができていない

医師・歯科医師の資産形成におすすめ (拠出型企業年金保険)

保険医年金

- ▶月払:1口1万円~(通算30口まで)
- ▶一時払:1口50万円~(毎回40口まで)
- ▶自在性が魅力!
 - 急な出費にも1口単位で解約可能
 - 払込が困難なときは掛金中断、余裕ができたなら掛金再開
- ▶まとまった資金は「一時払」で上乗せ(毎回2000万円まで)
- ▶予定利率**1.259%** 2014年度は **1.603%**でした!
+決算配当が出ればさらにプラス

加入者が5000人を超えました 保険医協会の団体定期生命保険

グループ保険

- ▶毎年高配当を継続 過去7年の平均配当率**46%**
- ▶断然安い保険料
- ▶最高**5000万円**の高額保障
- ▶配偶者**1000万円**のセット加入あり
- ▶いつでも増額・減額できます
- ▶医師による診査はありません
- ▶病気、事故、災害、死亡原因にかかわらずご加入の**死亡保険金額を保障**
- ▶最長75歳まで保障

病気やケガの休業に備えて、高い保険料を払っていませんか?

休業保障制度

- ▶最長75歳まで、**730日**の充実保障
- ▶割安な掛金が**満期まで上がりません**
- ▶掛け捨てではありません
- ▶弔慰・高度障害給付あり
- ▶自宅療養、代診をおいても給付
- ▶うつ病等の**精神疾患、認知症も給付**
- ▶所得補償保険との**重複受給OK**

さらに安心をプラス

積立年金 Defl

個人年金保険料控除がとれます

詳しくは、この表紙のパンフレットをご覧ください



所得補償保険

病気やケガによる休業に備えて 自宅療養も補償

医師賠償責任保険

医療上の事故に備えて万一の際も 保険医協会がしっかりサポート

お問い合わせは 共済部まで **TEL: 078-393-1805**

INFORMATION

開業セミナー「理想を実現する新規開業」

- セミナー1 私の開業体験—開業医の診療と経営の実際
講師●尼崎市・はせがわ内科院長 長谷川吉昭先生
- セミナー2 開業医コンセプトの策定と開業地選定のポイント
講師●(株)日本医業総研
- セミナー3 開業資金計画の作り方と経営が立ち上がるまでの収支動向
講師●税理士法人日本経営

日時: 6月 25日(土) 14:30~18:00
会場: 兵庫県私学会館 201号室
JR元町駅・阪神元町駅 東口から北へ徒歩3分

参加費: 会員**2,000円** 会員外**6,000円**

お問い合わせは 組織部まで **TEL: 078-393-1817**

私の開業 体験



あずま糖尿病内科クリニック 東大介先生

糖尿病治療管理が 開業への第一歩

昨年8月に西宮の苦楽園で開業された東大介先生にお話を伺いました。

—専門クリニックを開業された経緯をお聞かせください。
香川医科大学を卒業後は、腎臓内科医として、高松市の中核病院に勤めていました。その後、香川労災病院に転勤して、糖尿病治療にも本格的に関わることになりました。

昨今のうちに、既存のスタンダードな治療に対しての疑問がわいてきました。

例えば、糖尿病治療でよく使われるSU剤は、腎機能が悪化してきたら、本来使うべき薬ではないんです。だけど、血糖管理が不十分だと、薬剤を増量する選択肢はあっても減量、中止は実は勇気がいります。最初は、腎機能が低下した症例からSU剤を使わずに、良好な血糖管理が可能かトライしてみました。意外にも他の薬剤を併用しながら、血糖値を注意深く診ていくと良好な血糖管理が可能で

あることに気づきました。その後、腎機能が低下していかない患者さんに対象を広げても、結果は同じでした。HbA1cではなく、血糖値特に食後2時間値を追いかけていくことで、低血糖なく正常な血糖値まで改善できると気づきました。

私自身、もともと人とコミュニケーションをとるのが好きで、開業医に向いている方かなと思っていました。糖尿病治療と出会い、「自分の治療方針を軸に患者さんの意識をかえることで患者さんの人生を大きく変えることができる。」そういった面白みを感じたことが、開業を考えるきっかけでした。

開業地の選択は、家族とも話し合いこれからの人生を家でもある神戸で挑戦してみようと考え、愛着と人脈のある香川県を離れる決意をしました。また、最初から開業を予定していることを理解いただいて、関西労災病院、山本恒彦部長の元にお世話になり、糖尿病専門医の資格を取りました。

—開業後に苦労されたことはありますか?

糖尿病で血糖をみて全体の流れをイメージするということが、ものすごく好きなんです。例えば、スマホアプリを活用して、クラウド連携で患者さんの

血糖値をリアルタイムに把握し、治療に役立てるといった、勤務医時代にはできなかったことが可能になりました。

—保険医協会はどのように利用されていますか?
関西労災病院の勤務時代に、勉強会で長谷川吉昭先生(尼崎・はせがわ内科)に出会いました。先生の診療所で月1回、研修もさせていただきました。先生に開業のノウハウを教わり、保険医協会の入会も勧められました。入会後は、新規開業医研究会に参加したり、休業保障制度に加入しています。

また、開業6カ月後の新規指導では、保険医協会の事務局の方が、直接、医院に来てくれて、サポートを受けたので助かりました。医者同士だと聞きづらい質問も、気兼ねなく聞くことができましたお陰で、本番もスムーズにいきました。

—これから開業をお考えの先生方にアドバイスをお願いします。
仕事は絶対に楽しい方がいいです。希望や、やりたいことを持って開業を考えれば、それに伴う苦労やリスクにも、立ち向かうことができます。

私は開業を志した頃から、妻に色々なことを相談していました。自分では出てこない発想や考え方を頼るうえで、家族やパートナーと相談することは大切だと思います。

また、開業という大きな人生の転機において、周囲の皆様の温かいお心遣いは本当にありがたかったです。香川時代の旧知の方々ももちろんですが、関西にでて約4年の間に知り合った、先述の山本先生、長谷川先生をはじめとして、関西労災への道筋をつくってくださった関西学院の久保田先生や糖尿病の講演会やその後の懇親会などで知り合った多くの先生方にサポートしていただきました。地域の講演会に積極的に出席することの重要性を開業をへて改めて実感いたしました。



PRO FILE 平成14年●香川医科大学医学部卒業後、同大学医学部附属病院研修医 / 平成17年●香川県済生会病院内科 / 平成19年●高松赤十字病院内科 / 平成21年●香川労災病院内科 / 平成24年●関西労災病院内科 / 平成27年8月●あずま糖尿病内科クリニック開設
【あずま・だいすけ】